



# 議会報告

枚方市では3月・6月・9月・12月の年4回、本議会が行われます。今回は2021年6月と9月に行われた議会にて私がした一般質問の中から、一部ですが報告をさせていただきます。



愛犬 くら

## Q コロナ渦における子供の貧困対策について

コロナ渦における生活支援として、子どもに直接関わる貧困対策としてどのような事に取り組んでいるのか、また、教育委員会では授業以外にどのような学習支援の取り組みを行っているのか、そしてその実績についてお聞かせください。

加えて経済的に厳しい家庭の子どもたちが、習い事やスポーツ教室などやめざるを得ない状況が深刻化しています。大阪府が実施しているような助成（市内在住中学生の約5割が月額1万円上限の対象となる文化・スポーツ教室等の習い事も含めた塾代等の助成をするバウチャー券）を令和元年6月に本市でも検討いただくよう要望しました。本市では財政負担も大きく難しいという認識をしていますが、対象を絞るなどの方法もあるかと思えます。こうした観点での事業実施について、どのように検討されてきたのかお伺いします。

## A 市の回答

子どもの貧困等の支援について、食の提供に加え、子ども食堂を実施する団体へ補助金を昨年度に引き続き交付し、今年度より体制を強化したスクールソーシャルワーカーが「子どもの未来応援コーディネーター」とも連携し、適切な福祉サービスに早期につなげるよう巡回を行っています。さらに、経済的に厳しいひとり親が子どもの健やかな成長に必要な養育費を確保するためのサポート事業を今年度より開始するなど、様々な取り組みを進めている所です。

授業以外の学習支援としては、参加希望者に対し平日の放課後に2時間程度（月2・3日）、中学3年生には夏休みに4日間、1日4時間程度で講座を実施。昨年度の登録実績は、小学生の登録数1419名、中学生140名、中学3年生の夏季講習は42名でした。

中学生対象の取り組み前後の確認テストでは、正答率の平均で67%から70%と向上、取り組み後の生徒対象のアンケート「1日あたりの勉強時間」の質問に対しても1時間以上と答えた生徒が55%から62%と増加し、一定の効果があったと把握しています。

習い事やスポーツ教室の助成事業については、財政負担と事業効果の視点から引き続き検証を行う必要があると考えております。

「子どもを守る条例」の「総合的・継続的・重層的」支援を推進していくという基本方針のもと、多岐の分野にわたる施策を包括的に展開していくことが重要であり、さまざまな取り組みを横断的に活用し推進していきます。

## 岡市の要望・意見

生徒が身近に学力補充として授業以外で利用でき、一人ひとりの学力に沿った効果的な取り組みとなるよう、学習支援を引き続き進めたいと思います。文化・スポーツ教室等の習い事も含めた塾代等の助成について、財政負担と事業効果の視点から引き続き検証をおこなう必要があるとのことですが、「枚方市の第2期枚方市子ども子育て支援事業計画」の中には生活が困窮する家庭ほど、学習理解度が低くなる、将来への希望が持てないなどの影響があるというアンケート結果もあります。

大阪市の手法は、現金給付と違い、塾代や習い事でのみ使用できるバウチャー券発行方法での実施なので、子どもに直接届く支援として効果的な方法と考えています。経済状況により子どもの可能性が閉ざされてしまうことがないよう、本来持っている力をすべての子どもが存分に発揮できるよう、子どもに直接届く枚方市ならではの支援策を今後も引き続き検討いただくよう要望いたします。

## Q 摂南大学と連携した農業特産物の創出について

枚方市における農業に対して将来を不安視される声をお聞きしていますが、その中で、昨年4月に農学部が開設された摂南大学と連携した6次産業化については、現在、杉地区のすももを活用した「すももサイダー」の商品化に向けて連携をすすめていると聞いています。

そこで具体的に摂南大学の学生はどのように関わっているのか、また、学生が収穫段階から関わることで、食に対する意識の向上や愛着が醸成され、また、製作過程にも携わることができる貴重な学びの場として非常に有意義だと考えますが、このような6次産業化のほか、農業特産物の創出に向けた摂南大学との連携については、どのような取り組みが進められているのか、お伺いします。

## A 市の回答

「すももサイダー」につきましては、12月に開催予定の農業まつりでの出展を目指し、試作品の製作に取り組んでいるところです。農学部の学生は、6月下旬から7月下旬にかけて6回にわたり、すももの収穫作業や種取り作業を行い、現在、食農ビジネス学科の基礎ゼミナールにおいて、商品コンセプトや販売戦略のアイデアを出し合っているとお聞きしています。

摂南大学農学部等と連携した農業特産物の創出につきましては、本市の気候や風土に適した高単価の農作物栽培の研究に向けて、早期に着手できるよう協議を進めているところです。具体的には、本市をはじめ、大阪府やJA北河内、農業研究会等で構成し、摂南大学農学部教授にアドバイザーとして参画いただいている枚方市農業振興協議会の事業として、例えば高糖度や芳醇な香りなど特色ある果物等の開発に向けて、協力農家と連携しながら研究に着手したいと考えているところです。

## 岡市の要望・意見

これから研究に着手するとのことですが、「このままでは枚方の農業に未来はない」と不安視されている農業従事者の声が届いています。

現在、サイダーづくりを進めている「すもも」は、古くから枚方の地で栽培された農作物で、府下でも一番の出荷量です。

一例ではありますが、例えば「すもも」の高品質化に向けて、公民連携による取り組みを進めることは、これから特産品化する品目を考えるより遥かに近道だと考えます。また、比較的育てやすく6次産業化として商品展開しやすいハーブなどの栽培も面白いのではないのでしょうか。

6次産業での新たな企業との連携も必要不可欠です。新たな企業と生産者が連携することで雇用も生まれ、大学を卒業してもこの枚方で働きたいと思える仕組みづくりも大事であり、そのきっかけとして北大阪商工会議所や枚方市商業連盟や商店街などと連携し、企業と生産者とマッチングをさせるなど新たな創意・工夫での取り組みが必要と考えます。

枚方ブランドの果物や野菜を生産する中で農業従事者が生産する楽しみや事業として展開する楽しみを構築していくために、農業従事者のモチベーションがあがるような取り組みを仕掛け、意欲ある農業従事者を巻き込み、枚方ブランドの早期の創出に取り組んでいただくよう要望いたします。

## 岡市えいじろう

生年月日：昭和48年12月9日 / 出身地：枚方市茄子作生まれ

略歴：茄子作保育所→枚方市立春日小学校→枚方市立東香里中学校→私立啓光学園高等学校（現常翔啓光学園高等学校） / 職歴：会社員→岡市商事設立（代表）

地域活動：春日小学校PTA会長（平成25年・26年） / 春日小学校50周年実行委員長（平成27年） / 東香里中学校PTA会長（平成30年）

春日小学校夏祭り実行委員会会長 / 枚方ライオンズクラブ / 北大阪商工会議所青年部 / 枚方市商業連盟青年部

好きな言葉：一期一会 / 趣味：写真撮影、神社仏閣巡り、フットサル、バトミントン、バスケットボール